

令和3年度 (一社) 犬山祭保存会理事会 第4回 議事録

●日時

令和3年12月18日(土) 18:00～19:30

●場所

IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F

●出席者(敬称略)

【常任理事】会長(石田)、会長代行(多和田)、副会長(小林、澤野、長谷川)、会計(下山)、財務特別委員長(今井)、伝統文化委員長(市橋)、伝統文化副委員長(長井)、てこ委員長(浅野)、てこ副委員長(吉田成伸、陸浦)、企画広報委員長(松田)、企画広報委員長代行(齐木治郎)、企画広報副委員長(柴田、林)

【理事】枝町組理事(武藤)、魚屋町組理事(小川)、下本町組理事(松岡)、中本町組理事(栗谷)、熊野町組理事(浅野)、新町組理事(山田)、本町組理事(安田)、練屋町組理事(長岡)、鍛冶屋町組理事(市橋義和)、名栗町組理事(森)、余坂組理事(大澤憲司)、外町組理事(伊藤尚宏)、内田町組理事(伊藤一則)、坂下大本町組理事(一色)

【企画広報委員】齐木美加、前田、吉田昌司、梅田、高木

【その他】保存会事務員(竹村)

●議事

I. ①会長挨拶 ②報告事項

II. 議題

① 会員制 a.運用 b.新会員 ②令和4年犬山祭 a.試楽祭 b.協賛金 c.スポンサー付提灯 ③その他

●配布資料

- ① 犬山祭申込書、参加者名簿、会費等の取りまとめ方法
- ② 犬山祭申込書
- ③ 名簿
- ④ 犬山祭参加者心得
- ⑤ R2年度試楽祭・本楽祭運行時間割、車山配置図
- ⑥ 協賛金資料
- ⑦ R4年度犬山祭予備調査

●議事内容

I. ①会長挨拶

・会長： 大変冷えてきて、来年のお祭はどうなるのかと聞かれることが多い。聞いてくる人は、やってほしいという願望で聞いてくる。

気持ちとしては、やるという方向で、しかしこのコロナの状況を真剣に見極めつつやらなければならないと思っている。

特に、全国のユネスコの無形文化遺産に登録されている33の祭の中で、年度初めの一番の先頭に犬山祭は行われる。この全国山・鉦・屋台保存連合会の高橋さんから何度も電話がかかってきて、犬山はどうされますか、なんとかやってほしいと思っております、といった伝言が入ってきております。

全国から、犬山祭の動向が注目されているということを感じているので、そういう方々の意見も聞きながら、皆さんと相談しつつ、考えていきたいと思う。

今週、文化庁長官表彰というものをいただいた。これは個人で貰ったわけではなく、犬山祭保存会の会長ということで頂いたものである。ユネスコの無形文化遺産の33の祭、来訪神の祭も10ほどある中で、祭関係者は私だけだった。肩書は、全国山・鉾・屋台保存連合会理事というものをつけてくださって、ユネスコのグループを代表していただいた。これは個人でいただいたものではなく、皆さんのおかげである。皆さんと一緒に頑張ってきた、犬山祭保存会の名誉であると思っている。

犬山市は、市の職員を文化庁に派遣している。自治体として文化庁とそれほど親密な関係を作っているのは、全国として犬山市ぐらいである。そういうところも影響していると思っている。

文化庁長官の都倉さんがおっしゃっていたのは、文化庁は、21世紀に入って、従来の文化財の保護という方針から転換してきた、文化庁行政のフィールドを広げた、ということであった。それは、文化財を保護するだけでなく、活用するということである。祭は特にそうであり、まちづくりと観光をミックスするということである。例えば、犬山城を修理するだけだったのが、修理だけでなく、広く情報公開するということである。犬山城も財団を作り、様変わりした。情報公開をして広く国民のために文化財を楽しむという流れができた。21世紀になって大きく舵を切ったのではないかと思う。そんなことも皆さんと情報を共有しながら、犬山祭保存会の行方を広く国民に共有の財産を楽しんでいただく、という方向に行けたら良いのではないかと、思う。以上をもって報告とさせていただきます。

審議としては、方向性が煮詰まってきたので、それを確認するために皆さんの忌憚のない意見をいただいて、今回の改革案を皆さんお一人お一人のものとしていただきたい。

・会長代行：報告事項として、本日はお客さんがみえているので、企画広報副委員長からお話していただく。

I. ②報告事項

会長：犬山祭にとって良い話であるということできていただいた。自動販売機に、それぞれの町内のからくりを書いて、犬山祭と関係づけて置かせていただき、多少の場所代をお支払いしますということである。

デザインはこちらでやるということになる。

ヨシダ・アンド・カンパニー：犬山のからくりがデザインされた飲料水の自販機を設置させていただくことで、諸経費が40万前後となるが、これによって、1人でも多くの方に犬山のからくりのことを知っていただくことが出来たらと思い提案させていただいた。

まだたたき台の段階ではあるが、デザインを検討中である。多くの人に知ってもらえたらということで、ご説明させていただいた。

サンポッカ社員：名古屋市で自動販売機の設置・管理を行っている。先程話があったように、ヨシダ・アンド・カンパニーさんと一緒になって犬山のわんまる君とからくりを、観光に来ていただいた方に、飲料の販売という形でPRできればと考えている。新しい木曾川の水の方で自動販売機を設置させていただき、水を販売提供できればと思い、参加させていただいた。わん丸くんとからくりを、全国に皆さんに知っていただくためのアイデアになるのではと考えている、よろしくお願ひしたい。

企画広報副委員長：デザインは私が担当させていただいている。

会長代行：報告事項として、ホテルインディゴについて会計から報告していただく。

会計：先日ホテルインディゴから連絡をいただき、数人だけでもインディゴの中でこさんの写真を撮りたいという依頼があったので、小数人ではあるがてこの方に来ていただき、写真を撮ったが、どのように使われるのかということはまだ検討中とのこと。三月一日のオープンに向けて、大人数のてこさん等で写真を撮って、犬山祭のPRを兼ねて、その一か月後の犬山祭に繋げていけたら良いのではと思っているので、そのような依頼があった際には、保存会を通しててこさんのご協力をお願いしたいと思う。

会長代行：犬山がこれから変わるかもしれないということで、良い方向に行きそうな気がするので、どんどんこういう話とは連携をとっていきたいと思う。

会長

中日新聞に、能楽師が、VRと能はとても相性がいい、VRを使って能を進化させたい、という記事が載っていた。博報堂という工房会社と組んでやっている。VRとからくりも相性が良いのではないかと思うし、一度関係している所に連絡もしてみたが、今はどんどんデジタルな技術と、従来の伝統的なものがコラボレーションしていく発想も進んでいるので、からくりもそういった素材になると思う。

そういった世の中になってきていることを頭に入れておいていただければと思う。

II. a.運用

- ・会長代行：それでは議題に入っていきたいと思う。会員会費制についてこれまでずっと協議してきていただいて、最終的な理事の皆さんのご意見をまとめて、運用方法をまとめさせていただいたので、報告させていただく。またご意見などがあつたら上げていただきたい。
- ・企画広報副委員長：資料の1P以降が、前回の理事会を元にして作成した資料となる。犬山祭参加申込書、参加者名簿、会費の取りまとめの方法についてご説明させていただきます。

まず1、参加申込書の配布・回収について、まず各町内の警固、車附、当番等、町内役に関しては、町内の理事が参加申込書を配布・回収していただく。てこは、町内在住者は、町内理事が参加申込書を配布回収、町内外のてこは、各てこ委員が配布回収。若衆（上山、中山、下山、お囃子方、人形方等の総称）は町内に住まいの若衆は理事が参加申込書を配布回収、町外在住者は各町内の伝統文化委員が申込書を配布・回収。小太鼓の子供連のお母さん方も名簿に名前を書いてもらう。子供さ

んとお母さんの世帯については、会費はいただかない。お父さんが世帯にいれば会費が発生する。

町外在住の祭礼役及びボランティア等は、公募する方を想定しているが、具体的な人数は要件。企画広報委員会が参加申込書を配布回収。

てこ委員、伝統文化委員、企画広報委員は、参加申込書を回収したら、町内の理事に届けて、理事がまとめてすべての参加申込書を保存会に提出する。

・会長代行：これは前回の理事会で決まった内容と違い、配布は理事さんがおこなっていただき、町内分の回収は理事さんにやっていただくことになる。てこ委員は、それぞれ参加名簿が集まってきて、各町内ごとに、てこと若衆関係については、各町内の委員に名簿を渡していただき、保存会に提出していただく。理事は町内の役員名簿、てこ以外の名簿となる。

てこ委員と伝統文化委員は町内と町外をまとめたものを一つの資料として、てこの参加者名簿、若衆の参加者名簿としてそれぞれ保存会に提出していただく。理事の提出書類、てこ委員の提出書類、若衆の提出書類とそれぞれのものであるということを決まったと思う。

・企画広報副委員長：参加者名簿は、町内、てこ、伝統文化委員とそれぞれ作るとうことである。

・会長代行：参加申込書は、町内外と各戸ばらばらに集めていただくが、名簿については、各てこ委員、各伝統文化委員が保存会に直接渡す。町内の名簿については理事さんがまとめる。

・町外在住のてこと若衆の情報を、名簿を作るために、てこ委員と伝統文化委員とで情報を共有する必要がある。その上で名簿を作っていただき、名簿に関しては町内、てこ、若衆の3つの名簿を、理事、てこ委員、伝統文化委員が、町内外関係なく作成していただくことになる。

申込書に関しては、申込書は一世帯に一枚となる。一世帯に複数枚届いても、提出するのは一枚となる。祭礼役が複数ある方については、役名を複数分書いていただく。

試楽・本楽と、世帯は別でも親族で役を振り分けている場合は、一世帯分で提出していただく。

代わりの方をお願いして出してもらうという方も、世帯の人だということで一緒にしていただき提出していただく。

申込書の説明は以上となる。

次に、参加者名簿の作成について。参加者名簿を回収していただいたら、参加者名簿の町内の警固等は理事が名簿にまとめていただく、てこは、町内在住と町外在住をまとめた名簿をてこ委員が作成していただく、若衆は町内在住と町外在住を含めて伝統文化委員が名簿を作成していただく。町外在住者の祭礼役及びボランティア等に関しては、企画広報委員が名簿を作成して保存会に提出していただく。

この名簿のデータに関して。全体の参加者名簿を、事務局で名簿に入力しておく。フォーマットを全町内分統一したデータを町内にお渡しするので、そこに修正を加えたり訂正していただくということができるよう、事務局で準備をしておく。

練り物3町内については、理事が参加者申込書、名簿を理事の方で作成をお願いする。

1 3 町内の役割について。試楽と本楽とでそれぞれが書いてある。

前回見ていただいた綱割等の項目も書いてあるが、理事、てこ委員、伝統文化委員、企画広報委員の名前を書くことは必須として、残りの祭礼役は、空欄が4つあるので、各町内の実情に合わせて記入していただく。練り物三町内は、理事以外はすべて空欄になっているのでこちらに祭礼役等の氏名を記入していただく。

会費の集金について。参加者名簿と参加者申込書の取りまとめである各町内理事、てこ委員、伝統文化委員、企画広報委員がそれぞれ集金していただく。まだ領収書のひな型を作っていないが、そちらも用意してお渡しすることになる。

それぞれ、3月第一週までを期限として、提出をお願いしたい。

会員証、参加者心得をお渡しする。会員証は作成中で検討しているところである。当日参加できるかどうか分からない方がいらっしゃると思うが、警察に提出するもの名簿になるものなので、参加未定の方についても名簿には入れておいてほしい。会費は、出られなかった方については発生しない。当日の出席状況を見ていただいた上で、後日払って頂いてもかまわない。

昨年参加者名簿をデータに登録したものをお渡しする。エクセルのフォーマットになる。

参加者心得について。

会長代行：こちらとしては皆さんにお渡しするデータの作成を急いでいるので、それを元に作業にとりかかっているということである。来年早々、遅くとも一月末までにはデータをお渡しする段取りで進めていく。初めてやる試みだが、臨機応変に対応させていただく。文章で書くと説明が難しい所もあるので、実際にやっていただいて、問題があったらその都度ご相談させていただくという形にして進めていきたい。ご協力をよろしく申し上げる。

新会員

新会員について。一番問題なのが、会員が新たに加入される際、町外在住者の祭礼役及びボランティア等の欄で、ここの参加者について、役割分担、どのようなしていただくのか、まだ明確になっていない中で、企画広報委員から、各理事に、町内でこういう方に参加していただきたい、こういったところが不足している、といったことについて、一度状況をお聞きしたいということなので、各理事さんにご意見をお聞きしたい。今祭をしている中で、新しい会員ができた時に、てこや若衆以外の形で、何らかの形で祭に参加したいという方が出てきた場合に、町内としてどのような参加の形を望んでいるか、その方向性をお聞きしたい。

- ・全体で何かやれるようなところで、配置していただければ良いと思う。
- ・前回は申し上げたが、難しい役について、どれくらい理解してもらえるかということもあるし、出るとしたらそちらの方にご協力いただいた方が良いのではないかと思う。皆で相談をしながら考えたいと思う。
- ・練り物なので特にない。
- ・犬山祭は年々人が増えてきて、雑踏整備のために町内から人を出してほしいと保存会から言われた事もあったので、そういった面で手伝っていただければと思う。
- ・人数的には足りている。特にない。
- ・2回に分けて交代制度にしてやっているの、来年については旧体制で参加する。
- ・人は足りている。
- ・会長代行：ただいまのご意見を参考にしながら、検討したい。

II. 2. 令和4年犬山祭

a. 試楽祭

会長代行：令和4年度犬山祭について。皆さんにお聞きしたいのは、まずどのような形で開催していったらいいのか。どういう状況になるかも分からないということもふまえて、一度ご意見を聞いて進めていきたい。縮小してやるのかどうかも含めた忌憚のない意見を聞きたい。

- ・現段階で、コロナ禍でやるということで、感染対策に気を付けたうえでの通常開催と考えている。お客さんの制限はとってもいいのではないかと思う。
- ・通常開催の方向でいきたいと考えている。コロナのことについて別途対策があると思うが、検討しながら進めていく。

- ・やりたいのはもちろんだが状況が分からない、やるかやらないかの判断をいつ決めるのかをはっきりした方がいいのでは。やるなら、規制をどうするのかという、そういう細かいことを決めていただきたい。対応できるようにお願いしたい。
- ・いつまでに決めないといけないのかが分からないので、お願いしたい、その上で状況を見て決める。できれば通常通り行いたい。

- ・いつ結論を出すのかということと、感染状況次第だと思うので、それがわからない。

自町内では参加する子供が8歳から12歳が主体であるが、子供のワクチン接種が順調にいくのかどうか。また、三回目のワクチン接種がどうなるのか。感染状況によって変わってくる。

- ・いつまでに決めるかもそうだし、祭に参加するものにワクチン接種がいるのかなど、そういったハードルをどこまでやるのかを考慮する必要がある。すべてを通常通りやるより、段階によっては縮小も可能なのか、総合的に考えてからと思う。
- ・社会状況が一番であると思う。やる方向で考えているが、やれるかやれないのかをいつ決めるのか、やるならどのような対策をするのか、それを言いたい。今の状況では何とも言いようがない。
- ・すべてコロナの状況による。現状では減っているので通常通りやれなくもないと思うが、オミクロン株がどうなるかにもよるし、祭関係者もそうだが、感染予防対策がどこまでとられるのがポイントである。それができれば通常通りの祭を行ってもいいのかと思う。

コロナの状況次第で分からない。

- ・通常通りやればいいと思う。自町内では春も秋も車山を出したが、感染したという報告もてこさんからは受けていない。感染対策をすれば通常の祭が出来ると思う。

- ・通常開催を期待したい。ただ祭となると、車山を曳くにあたって、ワクチン接種の証明があるのか、参加者にもそういった証明書等を求めるのか、ということも検討が必要。
- ・コロナ状況によって分からないが、自町内の祭事は、今年は感染対策をすべてやってきた。祭を二年もやらないと、上手く伝承することができないのでは、ということで、すべての祭事をこなしている。犬山祭に関しては、1月2月にまた感染者が増えるのではとも言われているので、今の段階では何とも言えないところがある。
- ・自町内でも、春・秋と車山を出した。町内の夏祭もやった。今度の犬山祭もやればいいと思うが、試楽は、13輦は城前に揃えなくてもいいのではないかと思う。後はコロナ次第だと思う。

また、ポスターを張って告知などするのか。

→・まだ検討中である。

- ・会長代行：状況を見ながら進めていく、ただし前向きな形でやっていくということくらいしか今は言えない。祭の内容についても、従来の方法で良いのか、縮小版にするのか、これからじっくり検討していきたい。それを決める期限がいつなのか、ということだが、まずは祭を行う方向で考えながら、最終的にどのような形にするのかの期限をいつにするか決めていく、という方向で考えている。
- ・令和二年度は、試楽の時に、城前に13輦をそろえて夜車山を出すという計画の元で組まれたものである。しかし13輦揃えて夜車山を出すということは、2年もやっていないので、事故が起きるのではないか。だからこれはやらない、という方向の方が良い。やるのであれば、今まで通り城前と駅前に分けてやったほうが安全だと思う。
- ・会長代行：そこも踏まえてきっちり議論していきたい。てこ委員会を開いていただき、委員会として案を練っていただきたい。

b.協賛金

- ・会長代行：協賛金について。

・財務特別委員長：協賛金については、今回はやらない、ということで提案をさせていただく。まず理由として、二年連続で祭を開催できていないことと、今年度の祭も理事の皆さんから、本当にやれるのか、という声があったように、まだ不透明感がある。通常のお祭というのが、来年度はまだなかなかできないのではないかと思う。かなり縮小版になると思うが、その上での協賛金ということでお願いするのは、本来のやり方が出来ないのに協賛というのは難しいと思っている。

昨年度、協賛金をいただいた、申し込みがあって入金はまだない方は3分の1ほど。専務理事からは、予算的にはなんとか余裕があると聞いているので、とりあえず開催できる方向である。

不安要素は、一度協賛金をやめると、次の協賛金にはかなり影響が出ると思われる。もう協賛金のやり方を本来の形に一度見直そうと思っている。かたよった協賛金になっているので、相談して、協賛金のスポンサーの掲載方法を、SNSなどいろいろな形でお返しができないかと思っている。考える時間をいただきたい。

スポンサー付き提灯について。これは初めてのもので、この以前は丸提灯を三年やらせていただいた。これもお願いするところが偏ってしまうので、専務理事から提案があり、弓張提灯でどうかという案が出た。

スポンサーとの協賛という形なので、町内の企業名がついた車山を目にすることになるが、それが良いのか、品が悪いからいけない、という声もある一方で、企業名が入ってもよいのではないかというご意見もある。この件について、町内に持ち帰っていただき、この案に関して、皆さんがどのような空気であるか、見ていただきたいと思う。また次回の理事会でも意見を頂ければありがたい。

協賛金については、今年はやらないという提案をさせていただくが、今回の理事会で決めたいいただきたいと思う。

会長代行：財務特別委員長から話があったが、2年やっていないということで、来年の祭もやれるかどうか分からない状況の中で協賛金を集めるのは心苦しいと言う事だと思う。

一度ここで線を引いて、仕切り直しをしたらどうかと思うが、理事の皆さんのお考えをお聞かせいただきたい。二者択一であるので、ご意見をいただいて、進めていこうと思う。

仕切り直しをするということで、来年の祭の協賛金については集めないという方向で了解いただいたということによろしいか。

c. スポンサー付提灯

- ・会長代行：スポンサー付き提灯について。
- ・財務特別委員長：こちらは協賛金の一部と考えている。
- ・会長代行：こういう形で、弓張り提灯に、一本一万五千から二万円になる。費用を払っていただくと、これによって、各車山に、弓張提灯を奉納する、付けるということになる。一度理事の皆さんは町内にこの件について持ち帰って頂き、良いと思うだとか、自分のところはいらないとか、そういったご意見をいただきたい。進める場合は、提灯を発注しなければならないので、一度議論いただけたらと思う。
- ・その提灯は一回きりか。
- ・一回きりである、協賛していただいた方にお渡しするものである。
- ・提灯は各町内で大きさが違う。作ってから、ある町内に住んでいるある方の分を作ってくれと言われても、サイズが違う、ということも出てくる。それはどのように対応するのか。また、反対に、自分の提灯はこの町内の車山につけて欲しい、といった注文はできるのか。
- ・弓張提灯は、町内でもつける側がまちまちである、太さもそれぞれ違う。一律提灯を作ったとして、つけられないという状況が出てくることもありうる。

一番いいのは、どこで作ったのかを調査することであると思う。

協賛された方は町内を指定できるのかどうかということについて、私は指定するのは難しいと思っているが、町内の形態を調査して、何本作れるのか、何本作らなければならないのか、を把握する必要がある。それぞれ、車山によって微妙に違う。大量に作ろうと思うと、大きい会社にお問い合わせすると形が一定になってしまう。台を工夫す

る等のやり方もあるが、そうなると町内さんは大変だと思う。そこはじっくり一年間考えたい。まず、やってもいいかどうかの検討をしていただきたい。

- ・この提灯は、本部の前に並べるとかではなく、車山につけるということを前提にしているのか。
- ・そういうことである。
- ・個人的には嫌だと思っているが、他の人も意見も聞いてからまた判断したい。
- ・町内で検討したい。
- ・保留したい。
- ・現実的に、一町内で弓張りをどれだけつけるとかはあるのか。たくさん注文が来たらたくさんつけるのか。

→協賛なので、応募があればその分付けたいと考えている。

- ・具体的にどこに付けるのかという指定はあるのか。スポンサーによっては目立つところにつけたいと思うところもあるのでは。
- ・指定することはできないと考えている。
- ・スポンサーというのは町内に関係があるのか。

→・町内さんに手間賃は出す形になると思う。

- ・町内に持ち帰って検討する。
- ・本部の前でずらっと提灯を固めるような場所があったら、良いかなと思うが、車山に付けるとなると、あまりにも雰囲気は車山とかけ離れたものになるので、町内に一度聞かなければならないと思う。
- ・財務特別委員長：従来は、針綱神社の前で36個の提灯を付けていたが、なかなか丸提灯の場合は、協賛が集まらず、36集めるのにいっぱいだった。今回は、車山に提灯が付くことによって、付加価値が上がる部分はかなりあると思う。

・付加価値で言えば、成田山では参道のところに提灯が飾られていてPRになっているし、犬山祭でも、本部のところでスポンサー付き弓張提灯を掲げるというだけでも十分では。それは出資者に進呈するので、それでも付加価値があるのでは。車山にこだわらなくても良いのでは。車山につけるとマッチングしないように思う。町内に持ち帰っても、感覚的な問題で、いろいろな意見が出されて、難しいのではないかと思う。本部のどこかに協賛者の提灯を提示する方向で検討してはどうか。

・車山につけるのには抵抗がある。自町内の交差点は人が集まる場所なので、場所の提供をさせていただくという形では協力させていただきたい。

・財務特別委員長：試楽では提灯をつけて、本楽ではつけない、といったように試楽と本楽とで形式を変えるという選択肢もある。それも考慮していただきたい。

・和紙に書いて弓張りに貼るという簡易的な提灯はできないのか。

→・検討させていただく。

・賛成である、やり方はいろいろあると思うが試楽だけならいいのではと思っています。

・今考えているのは、カラーはなく、色は黒文字のみとなる。奉納という言葉は必ず入れる。書体も一律のものにしたい。

・会長代行：保存会の財務をしっかりとしていこうということで、いろいろな企画を出していただいたので、前向きに検討していただいて、考えていきたいと思う。

以上で本日の議題は終わりとする。

Ⅲ. その他

・副委員長：新年会を今年はやらないというご意見がほとんどであった。各組合でも忘年会新年会を盛んにやっているが、保存会はどうするか。従来は理事会を終えて針綱神社の休憩所でお世話になっている。

・副委員長：今の状況では、愛知県は人数制限はない。若干飲み会をやる所も増えてきてはいるが、以前のような盛り上がりではない。100名入るところに50名ほど。ソーシャルディスタンスをとってやっているところがほとんどである。若干戻ってきてはいる。

喋る時はマスクで、食べるだけとして、たばこの喫煙室と同じでしゃべる時は他のところへ行ってもらう、という形である。

・会長：本日は貴重なご意見ありがとうございました。

私は、祭をやりたいけどどうか、という声をかみ殺している。今年のからくり町巡りも、あれを見ていて、家の中にいる人が外に出てきていた。皆さんは、お世話役する方はいろいろ考えていらっしゃって大変だと思うが、外にいる方は犬山祭にとっても感動している。そういうことを作るのも我々のひとつの役割ではないかと思う。我慢して日常の型にはまった生活をしているときに、自由な解放感が瞬時に手に入る。二年間祭をやらずに、言うに言えない気持ちの時に、頭の中の科学が勝っている状態である。しかし人間は科学だけで生きているわけではない。説明のつかない解放感というものも、人間の一つの生存の大きな要素であるように思う。

議論を重ねながら結論を出していきたいと思う。きちっとした科学的な対策、完璧な対策をとれば、人間として大事な行為となるではないかと思う。

常任理事会は喧々諤々やっている。それを重ねて理事会にて提案させていただきたいと思う。

・検討したうえでご連絡申し上げる。

・下本町の車山の屋根周りが相当傷んでいる。去年の秋から点検修理している。令和2年11月22日にどんでん館で市役所の方に立ち会っていただいた。

12月5日に技術者と先生の方に来ていただき、解体調査をされて、診断では相当傷んでいるとのこと。緊急を要する場合等の結果が出たら、今後の理事会にてご報告させていただく。

・犬山祭予備調査について。運用のことも含めて、ここに書いて連絡をいただきたい。例えば草鞋が非常に苦勞するようなので、必要な数を書いて事務局まで書いてお願いしたい。

また、祭の人員について、要望がある場合には、ここに記入をしていただきご連絡を頂きたい。

・会長代行：会員証について。企画広報委員から、ご提案をいただいている。

・企画広報委員：今回、会員制になり、統一した一体感をもった会員証を用意したらということで、今回、リストバンドを会員である方にはめていただけて参加していただくことをご提案する。他にも木札がいいのではと考えてみた。

リストバンドを1500本作ったと仮定した場合、町内の方は1000人、子供の方は100人くらいいらっしゃるのかと思うので、余裕をみて1500本として、これを製作した場合、だいたい一本150円くらいの単価で作ることができる予定である。木札はもう少しかかる。製作の指示はまだ出していないが、おおむね二週間で製作可能。状況によって、判断はぎりぎりでも大丈夫なので、よろしければこのような形でやれればと思っている。よろしくお願いしたい。

木札だと首からぶら下げる形になり、どんでんなどの密集したところでは、前の人と接触するおそれもある。紐でくくられているので引っ張られたりなど、予期せぬ事故も起こる可能性があるので取り下げる予定。リストバンドに決めたわけではないので、こういったものはどうか、といったご提案があればお願いしたい。シールも考えたら、服装が変わった場合に貼り直す問題等がある。

・会長代行：いいものを作れば費用はかかるということで、企画広報委員の方々も苦勞されている。是非いい意見があればお聞かせ願いたい。

・会長：12月25日の土曜日に、東野宮古墳で冬至を皆さんと一緒に見る企画がある。冬至は、夜が一番長く、その日を境に一日一分、光が増してくる。古代人は、冬至を境に死者がよみがえるという信仰心を持っていた。東之宮に埋葬されている当時の丹羽の大王が、犬山祭の筆頭ご祭神である、尾張針名根連命である。

犬山祭と針綱神社は一体である。犬山祭は、東野宮に埋葬された人を祀る祭である。日の出は6時半である。この日は、割合市民も来ている。祭関係者の方も、関心がある人は是非来ていただきたい。日の出の時には、東野宮に埋葬されていたと思われる埋葬者の入っている棺の上に、光が入ってくることになり非常に神秘的である。

犬山祭は針綱神社の祭なので、針綱神社を使ってもいいと思う。この理事会も、針綱神社の社務所を使っても良いのだが、からくり館が出来たのでここで行っているが、あの社務所を使ってもいい。寺院は僧侶のものだが、神社は宮司のものではない。共有地である。氏子関係者は誰がいつ使ってもいい。

餅つきも奉納のみとなる。

・企画広報委員長：今年は、別途作った餅を奉納するだけとなる。

中津川の中島工務店の加子母、車山を修理している会社のカレンダーである。欲しい方は早めに来て欲しい。

●次回日時

未定

●次回場所

からくり館2階

●記録日

令和3年12月25日

.

●記録者

竹村

●署名

石田芳弘

多和田兼道